

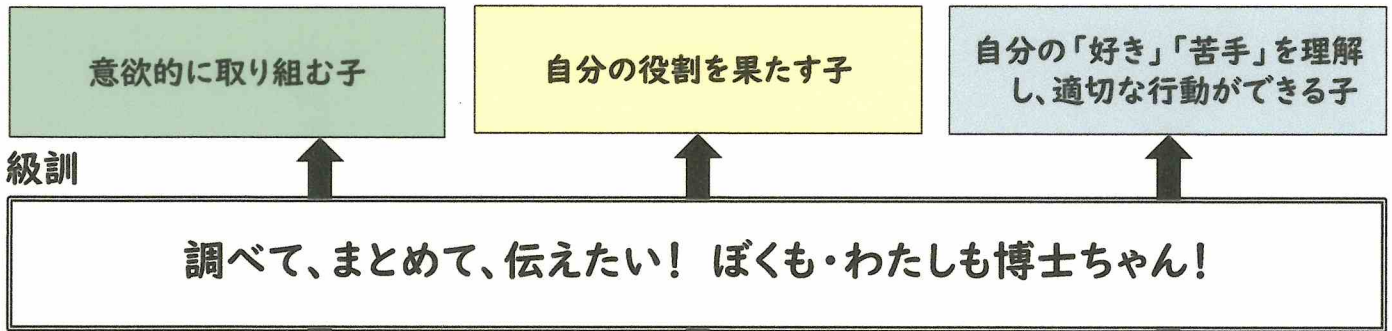
自分事としてとらえる
 思いを伝え合う

誰一人、排除しない
 誰かのために動ける

健康な心と体を育む
 社会に目を向け、つながる

令和5年度 めざす子どもの姿
 考え、伝え合い、自分らしく輝く子ども

学級における具体的な子どもの姿



指導・支援の内容

○読むこと、書くこと
 ・子どもたちそれぞれが、自分の好きなことについて調べる過程で、資料を読み、気になったことを書きだす場を設定し、読み書きに親しめるようにする。

○話すこと
 ・自分の伝えたいことを、正しい文章構成で相手に伝えたり、相手に聞こえる声で話したりできるよう、動画制作や発表の場を設定する。

○新たな課題に気づく
 ・発表を見てくれた人にフィードバックをもらい、活動の改善をはかる。

○学級で
 ・日直の活動を責任をもって行い、役割を果たすことの大切さを理解できるようにする。
 ・自立活動やSSTを通じて、使ったものは元の場所へ片づける、時間を守って場に合った行動をするといったことができるようにする。

○学年で
 ・事前指導や個別指導を通し、係の活動や行事において、自分の役割を最後までやり遂げられるようにする。

○学校で
 ・委員会や掃除で、友達と協力しながら、行動できるようにする。

○「好き」を深める
 ・「好きなこと」と教科の内容とを関連させ、学習指導を行う。
 ・「好きなこと」を通して体を動かしたり、人と関わる場を設定したりする。

○「苦手」と向き合う
 ・「苦手なこと」に直面したとき、どのような行動をとったら解決できるのか、パターンに落としたり、教師との対話を通したりして考える。
 ・うまくいかなかったときは、よりよく生活するには、どのような行動をすべきだったのかを教師と一緒に振り返るようにする。